

初志をいつまでも忘れず
行動し続けます。

西宮市議会議員

田中まさたけ 市政報告



覚えていただいていますか？4年前に掲げた目標です。
その目標に基づき、1期4年間の私の活動を5段階で示し、経過をご報告します。

- ①…行動を起こせず、実現できていない
- ②…行動を起こしたが、実現できていない
- ③…一部実現したが、今後も提言が必要
- ④…実現したが、これからの動向に注意が必要
- ⑤…実現した

通信簿

■議会改革

○議員定数の削減

…②⇒

平成17年12月に、当時の議長に対して、「定数削減検討委員会設置の要望書」を提出したものの、一部の会派の賛成を得られず、公開して議論する場が設けられずに、却下されました。そして、平成18年12月議会において、1名削減の条例案が提出され、私が所属する蒼志会は賛成しましたが、市民クラブ(8名)、政新会(7名)、共産党(5名)、甲雄会(4名)が反対し、否決されました。これで、今期では減員できないことが確定しました。

○行政の監視だけではなく、議員が提案した政策が積極的に議論される議会環境作り …⑤⇒

「意見書」や「要望書」を提出し、意見書については議会で議論が繰り広げられ、採択されました。引き続き、行動します。

■行政改革(市役所改革)と財政改革

○市職員の意欲を伸ばし、能力を発揮できる人事システムの構築…④⇒

平成16年春に行政経営改革基本計画が策定され、平成18年度に人事評価システムが再構築されました。

○民間企業での研修やアンケートの導入で「お役所仕事」の風習を排除…③

○財政改革…④⇒

平成17年春に「第3次行財政改善実施計画」が策定されました。この計画に基づき、様々な財政改革が進められています。

■教育環境の向上・子育て支援

○保育所や幼稚園の待機児童の解消…③⇒

保育所定員3743名(H15年4月)→4169名(H18年9月)
待機児童284名(H15年4月)→183名(H18年9月)

○総合選抜制度の見直し…⑤⇒

「総合選抜制度を改め、複数志願制度を早急に導入することを求める意見書」を議会に提出し、採択され、複数志願制度の導入が本格的に検討されるようになりました。

■福祉・まちづくり

○身近なところからバリアフリー化を…③⇒

交差点での歩道の段差解消事業:H15年から3カ年で294箇所歩道のフラット化や傾斜の緩和も順次行われています。

○西宮市立中央病院のあり方を見直し…③⇒

平成18年度より第2次経営健全化計画が実施され、その計画の中に、提案した内容が多数盛り込まれました。

■その他

○少子高齢化問題・産業振興策・環境政策…③

→本会議の一般質問や常任委員会での質問を通じて、数々の問題提起を行いました。実現には時間のかかりそうな内容もあります。問題提起の内容は、中面もご参照下さい。

政策提言と動向

の適用に向けた準備が進んでいます。
/アウトソーシングの推進⇒○指針が策定されました。/図書館運営の効率化とサービス向上⇒○開所時間が延長され、インターネットでの蔵書検索や予約が可能になるなどサービスは向上しています。引き続き、効率化を求めます。

◆平成16年12月議会
補助金制度改革と情報公開⇒△減額や廃止だけが先行されました。今後は、「復活」や「新規」も含めた支給決定工程などの制度化を求めます。
◆平成17年6月・平成18年9月議会
入札制度改革と契約情報の積極的な公開/入札における公正性の確保と随意契約(入札を行わない契約)の透明性の向上⇒△ホームページでの入札情報公開が進められています。

■行政改革(市役所改革)・財政改革

行財政改善の取り組みは、本会議で再三にわたり訴えた結果、ようやく平成17年度から再開されました。これで、赤字再建団体への転落は当面免れることになりそうですが、真の財政健全化には程遠い状況です。引き続き、無駄を排し、サービスの維持・向上に向けた提言を行うとともに、収入確保に向けた施策も提案します。

また、平成16年度から5か年計画の「行政経営改革」が実施され、新たな人事評価制度や行政活動の評価システムの構築が行われています。今後は、構築されたシステムの有効性を求めてまいります。

●議会で取り上げた主な内容と進捗状況

◆平成15年6月議会
事務事業評価システムの早期活用⇒○平成17年度から稼働しています。
/市営住宅の家賃滞納解消⇒○取り組みが強化されました。

◆平成15年12月議会
行政コストの可視化(ABC手法※1)の導入⇒○水道局で導入されました。
/学校給食の民間委託⇒×/西宮市食肉センターの運営改善⇒△

◆平成16年6月議会
PFI手法※2)の導入⇒○PFIガイドラインが策定され、実際の大型公共事業へ

願制度の早期導入を求める意見書」が採択され、複数志願制度の導入が本格的に検討されることになりました。

今後は、真の文教都市を目指すべく、「学校評価」を活用し、現場での具体的問題点を洗い出すことで、各公立小・中学校の教育改革に取り組めます。

◆議会で取り上げた主な内容と進捗状況
◆平成15年12月議会

公立保育所の民営化計画の策定⇒○近々に民間移管計画が発表される予定です。/公立幼稚園の民営化⇒×

◆平成16年12月・平成18年3月議会
登下校時の子どもたちの安全対策の強化⇒○市内全校でボランティアによる見守り活動が行われるようになりました。/IT技術の活用による持続可能な安全対策体制の整備と市の支援策強化⇒◎安全推進団体連絡会防犯部会が立ち上がり、子どもたちの安全対策も取り上げられています。また、IT技術を活用した取り組みも進められています。

◆平成18年6月議会
学校評価の全校実施と機能強化⇒△



■福祉・環境・まちづくり

市政は、最も生活に密着したことに対応する必要があります。福祉制度や環境対策、社会基盤整備は、国による決定事項や補助金に左右される性質が強い分野です。地方分権が進められる中、現場主義で不具合やニーズをつかみ、地方でもできる持続可能な制度設計を目指します。

●議会で取り上げた主な内容と進捗状況
◆平成15年6月議会
カラス対策⇒△/公園整備計画と維持

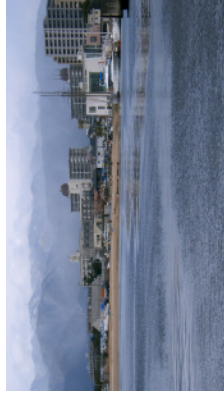
費の見込み/高齢者・障害者・ベビーカーなど交通弱者の生活を考慮した歩道の確保とバリアフリー化⇒○財政状況が厳しいことから一気には進められませんが、着実に進められています。/JRさくら夙川駅周辺整備問題⇒△(駅前広場の設置⇒×)

◆平成15年6月・12月・平成16年12月議会
西宮市立中央病院の経営改善(「地方公営企業法の全部適用(全適※3)」による経営責任の明確化/サービス向上と業務効率化による経営健全化策)の提案⇒○第2次経営健全化計画において、「全部適用」を検討することをはじめ、提案事項が多数が盛り込まれました。

◆平成17年9月議会
少子高齢化問題への対応策(福祉学習の推進・不妊治療への支援・子育て支援情報一元化と広報)⇒○子育て支援情報を1つにまとめた冊子が作成され、配布されています。

◆平成18年6月議会
公共資産(道路・学校・その他公共施設・上下水道・公園など)の安全性の確保、維持管理における効率化と費用負担の平準化⇒△市営住宅の修繕計画が見直されています。

◆平成18年9月議会
「地域福祉計画」の具体化⇒△



■その他

◆参画と協働のまちづくり

現在、市民との参画と協働によるまちづくりが自治体で流行しています。しかしながら、流行に流された取り組みでは、偏った参画や目先のことにとらわれた政策展開が懸念されます。真の参画

と協働は、現場で実現されるべきです。これからも、現場主義で真の参画と協働の定着を目指します。

●議会で取り上げた主な内容と進捗状況
◆平成16年12月・平成17年6月・9月議会
(仮称)市民参画条例策定の意義の確認⇒△参画条例策定委員会が立ち上がり、議論されています。/条例の実効性の確保/総合ボランティア制度とボランティアポイントの創設

◆商工政策

◆平成16年12月議会
産業情報のポータルサイト※4)の開発⇒○開設されることが決定しています。

◆平成18年3月議会
税収分析による商工政策の実効性の検証⇒×

◆防災対策

◆平成17年9月議会
防災ハザードマップの作成と啓発の強化⇒○平成18年度に策定されました。

※1)ABC手法…活動基準原価計算の略。行政の業務を各作業(活動)ごとにかかるコストを割り出すことで、業務工程でのコストの内訳を把握し、効率化を導く手法。

※2)PFI手法…従来は、行政が行っていた事業資金の借入から設計、建設、施設運営までをすべて民間企業に委託することで、質の高いサービスをより少ない財政支出で提供するもの。

※3)地方公営企業法の全部適用…病院事業の組織が一般の行政組織から独立される。加えて、病院に管理者を設置することが可能になり、市長からその管理者に職員の任免や待遇等の取扱や資産の取扱の権限が委譲される。これによって経営責任が明確化され、自律的な病院運営体制を確立することが可能となる。

※4)ポータルサイト…様々な情報が集約されたり、様々なサイトへのリンクがあるなどしてホームページの入口として用いられるサイトのこと。本市では、産業情報のポータルサイトの開設を目指している。

※)その他、不明な用語がございましたら、お問い合わせ下さい。

■約束のかたち：「活動記」の発行

「選挙の前だけ皆さんの前に現れる政治家にならない」と皆さんに「約束」しました。これまで、議会の現状をご報告するために、私が所属する蒼志会で「soushikai press」を議会が終わるたびに発行し、全市に配布してきました。

そして、そこで掲載し切れなかったことを中心に市政の現状をお伝えするために、個人の活動報告として「活動記」を発行し、街中で配布してきました。こちらは、人的な限界から、限られた地域にしかお配りできていません。バックナンバーをご希望の方、今後毎号の配布をご希望の方、「活動記」配布にご協力いただける方は、是非とも下記の連絡先までご連絡下さい。



■インターン生は、随時受け付けています

若者の政治離れに歯止めをかける一助になればと考え、政治を体験したいという若い世代を中心に当選当初からインターン生(研修生)を受け入れています。自発的にインターンに来た若者が、政治の現場を体験し、その後も政治に目を向け続けてくれ、日常の何気ない会話で話題にしてくれるようになれば、必ず政治はよくなると確信して、私はこの活動を続けてきました。微力かもしれませんが、政治の活性化のためにこの活動も重視し、随時受け付け、ご本人のニーズに合わせた活動を行ってまいります。ご遠慮なくお問い合わせ下さい。



※インターン活動に対するお問い合わせは、Eメールでお願いします。

■すべては将来の西宮を創造するために

私は、これからの西宮を創るためには、政治の活性化が必要であるとの志だけで行動してきました。そしてこれまで、機会があるごとに「選挙に行こう」と訴えてきました。



政治を、そして社会を創っていくのはやはり私たち国民1人ひとりです。西宮では、市議会議員1人あたりに、年間約1500万円の経費が掛かっています。金額の妥当性を議論することも必要ですが、税金で仕事をする議員をまずは「自分たちで選ぶ」という意識の浸透が必要だと思います。そして、時間の許す限り、選んだ議員の活動に目を向けてみてください。そうした一步一步の地道な行動が、私たちの安定的な生活を、これからの社会を創る近道であると私は信じています。「そんな綺麗ごとが通じるわけがない」と諦めないでください。

～Profile～

昭和50年7月 会社員の家庭に生まれる
平成6年3月 大阪府立四條畷高等学校卒業
平成11年3月 神戸大学工学部卒業
大学卒業直後から、西宮市議会議員筒井のぶお(現兵庫県議会議員)事務所に4年間勤務
平成15年4月 西宮市議会議員選挙初当選(当時27才)
現在、西宮市議会最年少で活動中
■担当委員会
1年・2年・4年目:建設常任委員会(2年目は副委員長)
3年目:厚生常任委員会(委員長)

市政に対するご意見・ご質問
資料のご要望は…

西宮市議会議員

田中まさたけ事務所

〒662-0854

西宮市櫛塚町1-14 光永ビル2F

(兵庫県西宮庁舎南向かい)

TEL. 0798-22-5172

FAX. 0798-34-8353

E-mail: masatake@soushikai.gr.jp

URL: <http://www.masatake.jp/>

